



## 合同会社紬・組

伝統ある「館林紬」の魅力を発信し  
地域の方々との交流を通して  
持続可能な地域社会の発展に貢献



📍 館林市

住 所・・・館林市仲町5-47

T E L・・・090-3605-6514

U R L・・・<https://tatebayashi-tsumugi.com/>

共同代表・・・安楽岡紀子 飯塚はる香 中村喬

設 立・・・2023年7月6日

資本金・・・300千円

WEBサイト



## 事業紹介

群馬県館林市に拠点を構える当社は、地元の伝統織物「館林紬」を現代のライフスタイルに調和させた商品の開発やデザインを手掛けています。伝統を守りながらも革新を取り入れ、地域の文化を未来に繋ぐ活動を展開中です。改装中の拠点では、手織り織機を導入し、手織り体験やワークショップを通じて「館林紬」の魅力を発信しつつ、地域の方々との交流を深める場としても機能させ、持続可能な地域社会の発展に貢献していきます。

## 経緯・背景

「館林紬」は、2019年に日本遺産として登録された「里沼～『祈り』『実り』『守り』の沼が磨き上げた館林の沼辺文化～」の構成要素の一つとして認定されています。しかし、市内に残る織物屋は1軒のみとなり、すでに生産は途絶え存続が危ぶまれています。その現状を目の前にして、歴史ある「館林紬」を未来に繋ぐため当社は設立されました。地元で最後の織物屋となった山岸織物様の協力も得られたことから、その価値を再構成し、次世代へ伝えることを目指しています。

## 産官連携で商品開発や 地域活性化に取り組み 海外進出も視野に

### 具体的な取組・成果

「館林紬」を現代のライフスタイルに調和させる商品開発やデザインを手掛けています。ネクタイ、てぬぐい、文房具（一筆箋・マスキングテープ・スタンプインク等）、Tシャツなどのプロダクトを生み出してきました。これらの商品は、「館林紬」再興のシンボルとして掲げたデザイン「日日漂（にちにちりん）」を活かし、伝統の魅力を新しい形で発信しています。ネクタイは桐生市の織物工場で製造、文房具は市内の老舗文房具店とコラボするなど県内事業者と開発しています。他の商品に関しても、品質にはこだわり、確かな技術を持つ国内企業と組ませていただき日常の中で長く使っていただける商品開発を心掛けております。



地域コミュニティや企業とも積極的に連携しています。

・館林市「市制70周年記念式典」記念品トートバックを制作

・全国展開している地元コーヒーショップや生活雑貨店とのワークショップ開催

・市内工場のイベントにてスタッフウェアとのコラボ

・市内事業者の商品のパッケージコラボ

など、さまざまな形で「館林紬」に触れる機会を提供し、認知の普及にも尽力しています。

改装中の拠点「ツムギトエンガワ」では、手織り織機を導入し、伝統的な技術を体験できる場を提供する予定です。この場所は、織物体験やワークショップの開催に加え、「館林紬」の文化的背景を発信する拠点として活用します。また、地元の人々との交流を深める場としても機能し、「館林紬」を通じたコミュニティ形成を促進する役割を担います。



### 当社にとってのSDGsビジョン

紬・組の名前には、「紬」を通じて、さまざまな人、企業と「組」んで、この伝統文化を未来へ紡ぎたいという想いが込められています。「館林紬」を活用した持続可能な商品開発や地域活性化の取組を通じ、伝統文化の保存と新しい価値創造を両立し、社会に貢献していくことを目指しています。

### 今後の展望と求めるパートナー像

今後は、地元での商品開発やワークショップなど、地元を拠点とした活動を継続しつつ、海外展開も視野に入れています。地域文化を未来に繋ぐ取組を、消えゆく各地の伝統織物へ横展開し、価値を再構築して世界へ発信したいと考えています。海外進出に強みを持つ企業と連携し、さらなる発展を目指します。